

・登米高等学校 志教育実践事例

活動名

「読み聞かせ活動」

登米高校：1～3年生10名

か
か
わ
る

も
と
め
る

は
た
す

【活動のねらい】

- ・登米市立登米小学校の児童を対象に登米高校の生徒が読み聞かせを行うことを通して、他者に貢献する精神を涵養する。
- ・地域の高校生に期待されている役割を果たす経験を通して、生徒の自己有用感、自己肯定感の向上につなげる。

[志教育の視点]

- ・小学生への読み聞かせを通して、学んだことを生かす。(もとめる)
- ・小学生とのかかわりを深め、地域の高校生に期待される役割を果たす。(かかわる, はたす)

〈活動の流れ〉

- ・登米市立登米小学校の1・2年生を対象に実施
- ・本校は図書委員と3年生の選択「発達と保育」受講者のうち、希望する生徒が実施
- ・読み聞かせに関する大型絵本については本校所蔵のものに加え、市立図書館の蔵書も活用している。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から1回の実施となったが、例年は8回程度実施
- ・3年生の選択「発達と保育」受講者にとっては学んだことを生かす場ともなっており、高校生の成長にもつながる。

ポイント

事前に説明会を実施し、練習したうえで本番を迎えさせる。



夢や志をはぐくむ手立て

- ・事前説明の段階で目的を伝え、地域の高校生に期待されていることであることを認識させる。(例年、小学校から高評価を頂いている。)
- ・成し遂げることを通して自己有用感を育み、他に貢献しようとする態度や機運を醸成する。